「光輝(かがやき)」プログラム			<b>やき)」プログラム</b>	義務教育完成期	8年生	(全 50 時間)			
	8年生で育成したい資質・能力								
育成したい 資質・能力	躍動する感性	1	人間味溢れる豊かな感覚	自分とは違う考え方をもった他者の存在を認めながら、自分の価値を追究することができる。					
		2	自ら学ぼうとする姿勢	社会・集団・個人のあるべき姿を想像し、その実現に	向けて,自発的,能動的に探求的学習や課外活動に取り	り組むことができる。			
	レジリエンス	3	粘り強く取り組む力	解決が困難な場合でも、解決への見通しをもち、改善を図りながら問題の解決に向けて取り組むことができる。					
		4	コラボレーションする力	目標に向かって共同で取り組む際に、責任感をもって	自分の役割を果たすことで、集団の課題を解決すること	とができる。			
		(5)	複眼的に思考する力	立場や年代などの違いを踏まえて事実や出来事をとら	え,実践していくことで,自らの行動を振り返り,これ	れからの自身のあり方に目を向けることができる。			
	横断的な知識・	6	知識と知識を関連づけながら深く追究する力	原理・法則や過去の成功例を別の事象にも応用したり	, 収集した情報から共通項を探ったりすることで,一定	の結論を導くことができる。			
		7	論理的に問題を解決する力	直面した問題について現状の把握と課題の設定を行う	とともに、課題解決策の立案と実行し、解決策を客観的	<b>りに評価することができる。</b>			

単元名	「共に生きる探究学習」
	身近な問題などから興味関心があることをテーマとする。そして,誰のためになるのかを明確にして,自ら課題を見つけ,解決に向けて追究することができる。解決するにあたり,各教科で身に付
単元を通して	けた見方や考え方を積極的に活用する。また,調べた情報をまとめるだけでなく,自ら実際に調査や検証をし,オンラインツールを活用しながらまとめていく力を養う。最終的には,他者との対話
めざす子ども像	を重視し,地域・社会へと視野ほ広げ,自発的に学んだことを活用し,誰かのために役に立つ問題提起や解決策を発表する。この探究活動を通して,「人のために尽くして感謝する」の意味を考
	え、自分自身のこれからの生き方を考えることができる。

1	段階	I (1~6)	II (7∼32)	III (32~44)	IV (44~50)	
学習課題		資質・能力系統表に書かれている目指すべき 姿をどのように自分たちが使えるものにでき るか	社会の役に立つための問いを設定することが できるか		どのようにすれば、全校生徒にわかりやすく ポスター発表を行うことができるだろうか	
	人間味溢れる	自分がどんな人間か見つめ直す			全校で発表する	
	豊かな感覚	認識する・見直す			提案する・コミュニケーションをとる	
	自ら学ぼうとする姿勢	目指す姿を設定する	論文を書く意義について考える			
	日の子はりこりの安労	見極める・言い換える	言及する			
	粘り強く取り組む力		問いを見つける			
	コラボレーション		創造する・作り出す			
育成したい		よりよい学級について考える(道)				
資質・能力	する力	振り返る・議論する				
			他者の班と意見交流する	中間発表を行う		
	ischtellieren 3 7 073		議論する・協力する	質問する・評価する		
	知識と知識を関連づけな		論文や文献から課題を明確にする	各教科の視点から問いの解決方法を探る		
	がら深く追究する力		集める・発見する	生み出す・構成する		
	論理的に問題を			論文を作成する	発表の内容や順序について検討する	
	解決する力			組み立てる・整える	再考する・要約する	
	教科			数学(統計)	国語(プレゼンテーションをしよう)	
	方法知・見方・考え方			数学的モデルの作り方	プレゼンテーションのまとめ方	
	活動	道徳の教科書の「テニス部の危機」を題材として、集団の一員としてよりよくあるために大切なことについて話し合う。 【1】	夢」を題材として,探究学習を始めた自			
	内容項目	よりよい学校生活,集団生活の充実	真理の探究,創造			
関連する 活動	活動	道徳の教科書の「人って,本当は?」を 題材として,よりよく生きるために考え ることについて話し合う。【1】				
/L =//	内容項目	よりよく生きる喜び				
	働きかけ	学級を運営していくクラスの係・日直の 仕事を自分達で決めさせる。	資料を集めるために,図書室を利用する	意見やアドバイス・評価・質疑応答を行	は,緑色の付箋は,良いところ,黄色の	
	働きかけ	よりよい学級にするために,学年目標に 基づいてクラスの目標を決めさせる。	他者評価を行い,互いの行動を評価でき るように促す。			
評	価方法	ポートフォリオ・観察	ポートフォリオ・観察・面談	ポートフォリオ・観察・面談	ポートフォリオ・発表の相互評価	

			「光輝(かがやき)」実践記録	義務	5教育完成期	8年生	(全 5	0 時間)
	単テ	己名		「共に生	きる探究学習」			
段階	評価方法		子どもの姿		計画変更点	教師の気・理由	づき 有効であっ	た手立て
	ワークシートの記述 観察	1	授業の振り返りとして、次の記述をしていることから、自己を見し、探究活動の起点となる自己の認識ができていたと見られる。自分への理解を深めることに関心をもつ様子も見られた。また、でなく、他者を尊重することや理解することの必要性についてもたことが推察される。・相手の話を聞く時、自分と似ていることや相違点を考えながらくさんの知らなかったことを理解できるから、それを生活でも行い知らない人と関わる時でも、相手を理解しそれについて尊重でに意識していきたい。・高校や大学とか、将来まだまだ色んな人と出会うので、自分と価値観を大切にしたいし、知りたいなと思った。・誰かの特徴を聞いた時に認めて、理解しようと思った。自分にれたから、好きなことはもっと深めてみたいと思う。  4人1組の班で、自分の特徴や個性を発表し合い、進んで交流し現をしようとする姿を確認することができた。また、他の人の発	加自確 聞いき くたる の い 自 し る う う う り き り た る の い 自 し る し る し し る し る し る し る し る し る し る	H E Z Z M	自動よえる活合方よす他に分	分を知ったり他者を のったりでは を中で、自分では 自分ででは 自分ででは はないと がでいるで が行こるで が行こるで が行こるで が行こるで が が行こるで が が で の の の の の の の の の の の の の の の の	を 尊重したくな でのででででででででいた。 でのででででででででででででででででででででででででででででででででででで
I	観察		しっかりと耳を傾け、相手に対する理解を深めようとする姿も見 光輝の7つの資質・能力の言葉を自分の言葉に言い換え、自分だ て理解しやすい言葉に変換することにより、日常生活の中で意識 うに考えられていた。また、端的な言葉にすることにより、普段 中で思い返したり、実際の行動につなげやすくなったりすること き、全体や4人1組の班で改善案を考えようとする姿も見られた	さちにとっ 哉できるよ 设の生活の こに気付		示 が 葉 る	先輩が考案した言葉とともに問示したり、自伸会信条を例としがら、行動化するために意識し葉や共通認識がもちやすい言葉ることの必要性を示すことで、がかりとなっていた。	を例として示しな かに意識しやすい言 かすい言葉にまとめ 「ことで、考案の手
	ワークシート記述	4	ワークシートの記述として、次の記述をしていることから、光輝よりよいものにするために、自己の在り方を見つめ直しながら、働することの大切さを認識していることが推察される。・全員がお互いのことを考え合って善なる行動をできるように、ンバーの一員だということを理解して、積極的に競技・話し合いたり(協力)、努力することをあきらめず自分にできることを考ながら動ける光輝の活動にする。・全員で準備をする時、誰かが話し合いに参加しないという状況もしれないけど、全員が互いを尊重して、自分のやるべきことがいたら、その人を責めたりはしないと思うし、周りがそう思って声をかければ自然と全員で協力できるようになるのではないかと・「協力」というキーワードを常に意識しておくようにする。居配り、自分以外の人の立場からも物事を考える。	他者とおがかのうのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		や え を 意 る 実 項 際	徳教材を活用して, 他者との関わりので 、学級全体や班での 一次流をしたり, 考えを ことに学がつかながの様子がつな生活の 学がつけながった。 こともできていた。	Eり方について考 O交流を通して思い を深める中で,課題 浅意欲を高めたりま いた。また,生徒内 ことにより,容 とることにより,実 で容を考えて交流す
=	振り返り	3	授業の振り返りとして、次の記述をしていることから、関心のあれるの化しながら問いを見つけて、探究活動に向けた意識を強めてができていると見られる。 ・自分が探究学習で行いたいことの大体のイメージを、細分化し立てることができた。 ・最初の細分化次第でもっと問いが立てられるのではないかと思た、「過去と今」や「日本と外国」など、比較の要素を出すことでですくなったので、参考にしていきたいと思う。 ・キーワードを繋げていくつか実際に問を作ることができたなどだいたい自分がどのようなことを探究のテーマにしたいのか考え良かったです。私は医療に関係することを探求するか小さい子の動について探求するかで迷っていたけど医療のことについて細究く中で小さい子に関係することもその中で調べることができるなたので2つのテーマを関連付けて探求することにしようかなと決できました。	こ し こここと こここと こここと ここここ こここここここここここここここ		いな化る「とドたてし	究学習のテーマ設定で難したが、にない。 できない はいれい ない がいれい ない がいれい かいれい かいれい かいれい かいれい かいれい かいがい はいがい かいがい はいがい かいがい はいがい かいがい かいが	いる子どもも少な かのある事柄を細対 っていた。とれていた。 では出ていた。とれていいではいる。 では出ていいではいでする。 では出しいができる。 ではいができる。 ではいができる。 ではいができる。 ではいができる。 ではいができる。 ではいができる。 ではいができる。 ではいができる。 ではいいではいいできる。 ではいいできる。 ではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではい
			現在Ⅱ段階途中であるため,まだ記述していません。					
III			現在    段階のため,まだ記述していません。 現在    段階のため,まだ記述していません。					

<u> </u>	<u> </u>	1	